

# 感染性胃腸炎にご注意!

感染性胃腸炎は、年間を通じて発生しますが、特に冬場に多く発生します。また、冬に発生する感染性胃腸炎は、ノロウイルスを原因とすることが多いのが特徴です。

学校、保育所、社会福祉施設などでは集団発生することがあり、昨年は県内の施設で発生した集団発生において死亡事例もありましたので、注意が必要です。



## ▶ノロウイルスとは?

ヒトの小腸で増殖し、嘔吐や下痢などを起こすウイルスです。

## ▶感染性胃腸炎の症状って?

ノロウイルスの潜伏期間は24～48時間といわれており、下痢、吐き気、腹痛、発熱(38℃以下)が主な症状です。通常3日以内で回復し、発症しても風邪のような症状のみの場合もあります。

下痢や嘔吐の症状がある場合には、水分を多めに取るように心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。

## ▶感染の経路は?

- ① ノロウイルスが大量に含まれる患者のふん便や吐物から、ヒトの手などを介して二次感染する。
- ② 家庭や共同生活施設など、ヒト同士の接触する機会が多いところで、ヒトからヒトへ飛沫感染等により感染する。
- ③ 食品取扱者(食品の製造等に従事する者、飲食店における調理従事者、家庭で調理を行う者などを含む)が感染しており、その者を介して汚染した食品を食べた場合。
- ④ 汚染されていた二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合。
- ⑤ ノロウイルスに汚染された井戸水や簡易水道を消毒不十分で摂取した場合。

## ▶感染の予防のためには

- ① トイレの後、調理をする際や食事の前には、よく手を洗い、使用するタオルなどは、清潔なものを使用しましょう。
- ② 食品は中心部まで十分に加熱してから食べましょう(湯通し程度の加熱では、ウイルスは死にません)。また、生鮮食品(野菜、果物)は十分に洗いましょう。
- ③ 便や吐物の処理をする場合には、念のため、使い捨てできるマスクやビニール手袋を着用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取りましょう。拭き取った後の床は、適正な濃度の塩素系消毒剤(次亜塩素酸ナトリウムなら塩素濃度約0.02%)で消毒を行いましょう。

最新の流行状況については、千葉県感染症情報センターホームページをご確認ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

お問い合わせ 千葉県健康福祉部疾病対策課 感染症対策室 TEL043-223-2691 (直通)

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

# 原則無料で受けられる予防接種のお知らせ

## 麻しん（はしか）風しん混合ワクチン（MR）

### 麻しん（はしか）風しんの予防

麻しん、風しんとも気道分泌物の中に含まれるウイルスを介して感染する感染症で、治療は対症療法になります。麻しんは感染力が強く、免疫のない人が感染を受けるとほぼ100%発症し、39℃以上の高熱と発疹、咳、鼻汁、結膜充血などが主な症状です。

風しんは、全身性で紅色の斑状丘疹状の発疹、発熱、後頭・耳後・頸部リンパ節腫脹の症状を特徴としており、妊娠初期の方が感染すると、出生児が白内障、心疾患、難聴などの障害が起こる先天性風しん症候群を発症することがあります。今年は全国的に多発しており、県内でも全数把握となった2008年以降、最多のペースとなっています。

麻しん風しんの予防には、あらかじめワクチンにより免疫をつけておくことです。

**対象者** 第1期 1歳児 第2期 5歳～7歳で小学校就学前の1年間の者  
第3期 中学1年生に相当する年齢の者 第4期 高校3年生に相当する年齢の者

※ 第3期と第4期は、平成18年に麻しん風しんワクチンが2回接種となったことにより、平成20年4月1日～平成25年3月31日までの、5年間の時限措置です。

**接種回数** 2回 ※ 免疫の獲得には2回のワクチン接種が必要です。

上記の対象者以外の方でも、麻しん・風しんに罹患したことのない方、予防接種を受けていない方（特に、妊婦への感染を防ぐため、妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族の方、妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方及び産褥早期の方）は、接種費用は自己負担になりますが、医師に相談の上、予防接種を受けることをお勧めします。

## 子宮頸がん予防（HPV）ワクチン

### ヒトパピローマウイルス（HPV）感染による子宮頸がん及びその前駆病変に対する予防

**対象者** 中学校1年生～高校1年生相当年齢の女子

※ 平成23年度中に1回以上の接種を受けた高校2年生の方は、平成24年度においても接種対象者となります。

**接種回数** 3回 ※ 標準的な接種方法では、1回目と3回目の接種には約6か月の間隔を置く必要がありますので、早めに接種を開始しましょう。

## ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン

### インフルエンザ菌b型による感染症、特に侵襲性の感染症（髄膜炎、敗血症、蜂巣炎、関節炎、喉頭蓋炎、肺炎および骨髄炎など）に対する予防

**対象者** 生後2か月～5歳未満の乳幼児

**接種回数** （接種を開始した時期により回数は異なります）

2か月～7か月未満 4回（初回免疫3回・追加免疫1回）  
7か月～12か月未満 3回（初回免疫2回・追加免疫1回）  
1～5歳未満 1回

## 小児用肺炎球菌ワクチン

### 肺炎球菌（血清型4、6B、9V、14、18C、19F及び23F）による侵襲性感染症に対する予防

**対象者** 生後2か月～5歳未満の乳幼児

**接種回数** （接種を開始した時期により回数は異なります）

2か月～7か月未満 4回（初回免疫3回・追加免疫1回）  
7か月～12か月未満 3回（初回免疫2回・追加免疫1回）  
1～2歳未満 2回  
2～5歳未満 1回

**お問い合わせ** 千葉県健康福祉部疾病対策課 感染症対策室 電話043-223-2691（直通）